

コラム「さきたま思い出写真館」①

堀内紀明

埼玉県立さきたま史跡の博物館（以下、当館。）では、企画展示室を使用し、平成21年9月1日(火)から10月18日(日)の日程で、世界遺産登録推進関連企画展「さきたま思い出写真館—変わりゆくもの・変わらざるもの—」（以下、写真展と略す。）と題し、写真展を開催した。以下、この写真展で展示した写真を紙面の許す限り紹介してみたい。

写真1は、埼玉古墳群全体を写した航空写真である。撮影時期は昭和5年頃が考えられ、約80年前の埼玉古墳群の様子を伝える大変貴重な1枚である。またこの写真は、今回撮影時期が確認できた写真の中で、最も古い時期のものであり、この頃から埼玉古墳群も写真という媒体で記録されるようになる。

写真の内容について少々触れてみたい。中央左端、9時の方向に見える丸い高まりが、丸墓山古墳である。左右に延びる石田堤の痕跡は現在よりも明瞭である。その丸墓山古墳より右斜め上、10時の方向に見える高まりが、稲荷山古墳である。稲荷山古墳は、本来このような前方後円墳であった。この撮影から数年後、近隣地域の埋め立てのため土採りが行われ、稲荷山古墳の前方部は消滅した。この写真は、前方後円墳としての稲荷山古墳の形を伝える大変貴重な資料である。また、1時の方向に目を向けていただきたい。2つの高まりを確認することができる。若王子古墳群である。写真では、前方後円墳と円墳が確認できると思うが、この古墳群も稲荷山古墳前方部とほぼ同時期に土採りが行われ、その姿を消すこととなる。この後ご覧いただく写真2と比較していただくと、その変化がわかりやすいと思う（32頁につづく）。



写真1 埼玉古墳群全景（昭和5年当時）